

地域包括ケア病棟の患者の受け入れについて

- 在宅からの受け入れについては、地域包括ケア病棟入院料1・3の実績要件として、「自宅等から入棟した患者割合が1割以上」であることを評価している
- 急性期からの受け入れについては、特に許可病床数が200床以上の医療機関において「自院の一般病床」の割合が高いが、転棟割合の制限は設けていない。

■病床規模と入棟元（枠内の割合は調査に基づく実績の平均値）

		許可病床数		
		200床未満 （現行）1割以上を評価	200床以上400床未満	400床以上
入棟元	自宅等	（約5割）	（約3割）	（約3割）
	他院の一般病床	（約2割）	（約1割）	（1割未満）
	自院の一般病床	（約3割）	（現行）制限はない （約6割）	（約7割）